

行政の窓

(その1) 平成26年度 北海道の木材関連施策について

北海道ではカラマツ、トドマツの人工林が利用期を迎えています。これらの道産木材を有効に利用することは森林資源の循環利用につながるほか、山村地域の活性化を図る上でも重要だと考えています。

そのため、道では今年度、道産木材の一層の有効活用を目指す「道産木材の需要の創出・拡大」、道産木材・木製品の付加価値向上や安定的・効率的な生産・流通体制を図る「木材製品の競争力の強化」、道民の森づくりや木材利用に対する理解を促進するための「木育の理念を基本とした道民との協働による森林づくり」を柱に様々な取組を進めます。

※ 平成26年度予算（平成25年度予算） 単位：千円

道産木材の需要の創出・拡大

- ◎ 森林整備加速化・林業再生事業費
4,841,120千円（12,144,927千円）
 - 川下対策
 - ・木質バイオマス加工流通施設等整備
木質バイオマス加工流通施設・利用施設整備を支援
大規模発電施設における木質バイオマス利用の取組を支援
 - ・木造公共施設整備への支援
 - ・道産木材の新規用途導入に向けた取組への支援
従来道産木材が使われていなかった分野における道産材の新たな導入に対する支援
 - ・CLT等の新技術、新製品の実用化に向けた取組への支援
中高層建築物での利用が期待できるCLT（直交集成板）等を活用した建築物の実証・展示等に対する支援
 - ◎ 予算事業以外の取組
 - ＜北の木の家＞優遇ローン制度構築への支援協力
 - ・道産木材の住宅分野での利用の拡大を目的として、住宅ローン優遇制度を構築するため北海道木材産業協同組合連合会と共同で金融機関に依頼
 - 出前「地材地消」講座
 - ・企業や団体向けの普及活動や各種イベント等への参加により「地材地消」の情報発信力を強化し道民生活への定着を促進



公共施設での道産木材利用

木材産業の競争力の強化

- ◎ 森林整備加速化・林業再生事業費（再掲）
 - 川下対策
 - ・木材加工流通施設等整備への支援
間伐材等の有効な活用を図るため、効率的な木材の処理及び加工等に必要な施設の整備を支援
 - ・原木しいたけ再生回復緊急対策
経営の安定に向けた実証、販路拡大や新商品開発等新たな需要創出に向けた取組への支援
 - ◎ 林業・木材産業構造改革事業費
305,196千円（212,962千円）
 - ・木材利用及び木材産業体制整備への支援

木育の理念を基本とした道民との協働による森林づくり

- ◎ 道民との協働の森づくり推進事業費
31,859千円（36,054千円）
(木育の情報発信等)
- ◎ 協働の森づくり人材育成事業費
2,429千円（2,706千円）
(木育マイスターの育成・活動促進)
- ◎ 予算事業以外の取組
 - 木育の産業化等に向けた支援
 - 「希望」を「きぼう」でプロジェクト



(水産林務部林務局林業木材課林業木材グループ)
(水産林務部森林環境局森林活用課木育推進グループ)